

事業者向け

放課後等デイサービス・児童発達支援自己評価表
令和4年度 トータスジュニア下野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			パーティションの利用で運動と学習のプログラムを差別化。レベルに応じた運動内容。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			リーダーの進行役、集団の補助のサブ、個別対応の職員を配置できている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			建設時バリアフリーに対応した、フルフラットな床やトイレには補助具を配置している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			毎回スタッフ会議および毎日のフィードバックで問題の早期解決を行なっている。随時職員間での情報共有。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			職員会議を通じて、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			毎年4月1日を目安にホームページ上に公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			月1回同法人内の施設関係者、外部関係者の意見評価により、業務改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			月に二回療育に関する勉強会を実施。療育模擬授業を毎日実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者との面談により目標を共有している。面談、送迎時の情報共有に努め計画に反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			事業所独自の評価ツールを使い、個別に発達の進歩を把握している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			療育会議とスタッフの意見を取り入れたカンファレンスを実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			プログラム変更を月1回以上定期的に行う。毎日ケースの振り返りを行い、プログラムに変化をつけるよう心掛けている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			午前、午後内容及び時間配分。平日の到着時間の違いに対応できる体制を整えている。月のイベント予定を配布している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別経過の中に集団プログラムの内容を組み入れ特性に応じた計画にしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			朝礼でその日の児童情報を共有し、連絡事項を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			送迎後の伝達を含め当日の療育のフィードバックを行う。ケース記録で振り返りを毎日行い、共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			記録後も気づいた点を付け足している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			多角的な支援をしている。
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議前にはスタッフ間で話し合いを行い誰でも状況を把握し会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			特別日課の際など学校とも連絡を取り合い対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			事業所の様子など報告し情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			電話、訪問等で情報交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		外出レクリエーションなど事業所以外の児童と関わることもある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			事業説明会など依頼された時に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎やお迎えの際状況を伝え支援目標や対応についてお話ししている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			相談に対してのアドバイス、助言を行っている。相談の機会を随時受け付けている。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時説明し、疑問点にも対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育ての他、兄弟間の悩みの相談にも取り組んでいる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	ママ会を実施していたが現在はコロナの影響もあり実施できていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対応策を協議し対応に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ラインを活用し情報提供している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			研修や職員間でも意識し注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的情報など伝わりやすい工夫をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			同施設内の高齢者や保育所の子供達と季節の行事を楽しめる工夫をしています。七夕、クリスマス、お正月等
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時にも説明し、事業所にもマニュアル掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練、災害時想定の新難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待に関する勉強会を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			前例はないが契約時に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時アレルギーの確認を行っている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットの勉強会を実施している。毎月委員会でヒヤリハット・事故報告を行う